

# 村のがまだしモン

No.16

ひらた 平田 志郎主事(26歳)

大分県

昨年10月より、復興支援の派遣職員として大分県別府市より出向。現在、復興推進課に所属し、がけ崩れ対策事業等に従事されています。

平田さんは、自然が好きで、山登りやキャンプなどアウトドア派な面もあり、スポーツはテニスなどもされるようです。

南阿蘇に来て、雄大な自然が身近になったので気軽に山にいけるようになり、より充実した日々を過ごされているようです。

また、南阿蘇村の美味しい水や新鮮な野菜をいただき日々の活力になっているようで!! 別府市に戻っても新鮮な野菜を食べに南阿蘇に来たいとのこと。

ちなみに、平田さんは、独身です。

最後に、『1日も早い災害復旧及び復興が出来るように精一杯頑張りますので宜しくお願いします』とご挨拶頂きました。村民の皆様、復興推進課にお越しの際は、お声をかけてください。

平田さん、今後も村のため宜しくお願いします。

(取材者/今村輝宏委員)



いつも明るい平田さん

## 村で頑張っている若者を紹介します

おおつか 大塚 清信さん(42歳)

喜多区

平成14年から、国道325号線沿いの『南阿蘇・自然派ソフト』を経営。赤色キッチンカーで移動販売もされており、県内外のイベント等にも出店されています。主に、阿蘇産牛乳を使い、オリジナルのソフトクリームやクレープを販売。

そして今回、自家栽培のブルーベリーと阿蘇産牛乳で『南阿蘇・瑠璃色アイス』を開発!! この瑠璃色アイスは、先日行われた熊本県物産フェアにて最優秀賞の金賞を受賞! 今年は、全国商工会連合会主催のイベントでも金賞を目指しているとのこと。

熊本地震から、もうすぐ3年が経とうとしています。地震後は、来店者も減るなどいろいろな苦労が…。キッチンカーでの出店時は観光案内マップを持参し、村のPRも忘れないそうです。

苦勞の末、開発した地産地消の商品『南阿蘇・瑠璃色アイス』。少しでも地域のために新商品を全国へ広めていきたいとのこと。大塚さんの今後の活躍に期待します。

(取材者/今村輝宏委員)



金賞を手にする大塚さん

## 編集後記

新年明けまして、おめでとうございます。今年も宜しくお願い申し上げます。

さて、早くも震災から丸3年を迎えようとしています。引き続き、被災村民の生活再建を最優先に、議会も取り組んで参ります。それと並行して、今年新しい復興の村づくり、人づくりを村内外に発信できる一年にしたいと考えています。

震災や人口減少、少子高齢化にも負けない、持続可能な村を目指し、行政と議会、緊張感のある活発な議論を展開したいものです。

そうした議論の様子を、この議会広報から村民の皆様が正確に感じ取って頂けるよう、更なる紙面上に努めて参ります。

太田 吉浩

### 議会広報特別委員会

委員長 丸野健一郎

副委員長 太田 吉浩

委員 笠野 眞喜

〃 〃 今村 竜喜

〃 〃 栃原 辰郎

〃 〃 今村 輝宏

### 発行責任者

議長 荒牧 俊一